

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題(和文)	隣接建物との対比関係からみたプロテスタント教会の現れ方 - 現代都市東京における都市型公益施設の表出形式に関する研究 (1)
Title(English)	Appearance of protestant church determined by comparison to its adjacent buildings in Tokyo
著者(和文)	稲用隆一, 小林 賛
Authors(English)	Inamochi Ryuichi, Tasuku Kobayashi
出典(和文)	日本建築学会大会学術講演梗概集, , pp. 457-458
Citation(English)	Summaries of technical papers of annual meeting, , pp. 457-458
発行日 / Pub. date	2015, 9
権利情報	一般社団法人 日本建築学会

隣接建物との対比関係からみたプロテスタント教会の現れ方

現代都市東京における都市型公益施設の出出形式に関する研究 (1)

正会員 稲用 隆一*
準会員 ○ 小林 賛**教会建物 外形ヴォリューム 対比関係
現代都市 公益施設 出出形式

1. 序 現代を代表する都市のひとつである東京では、資本主義社会の高度化に伴い、公益施設が独自の発展をみせてきた。そうした公共施設のひとつとして、キリスト教の二大宗派のひとつであるプロテスタント教会が挙げられる。プロテスタント教会は東京において、明治の文明開化期と戦後の高度経済成長期という東京の都市拡張期に数多く建てられ、地域コミュニティの拠点のひとつを担ってきた。それらは現在、建設当時の姿をとどめるものがみられる一方で、都市の高密化や高層化に伴い大規模化するものや、他の用途と複合したテナントとして建物に内蔵化されるものもみられる。こうした教会の建物の多様な現れ方は、プロテスタントが、礼拝に際して聖書を中心とし広い祭壇を必ずしも必要としないことから、礼拝空間の形態的な自由度が高いためだと考えられる。

ここでは、東京都心部のプロテスタント教会^{注)}を対象に、内部にプロテスタントの礼拝空間を含む建物を教会建物と定義し、その外形と用途、及び隣接する建物(以下、隣接建物)とのヴォリュームの対比関係を分析することから、現代都市における公益施設の出出形式の一端を明らかにする。

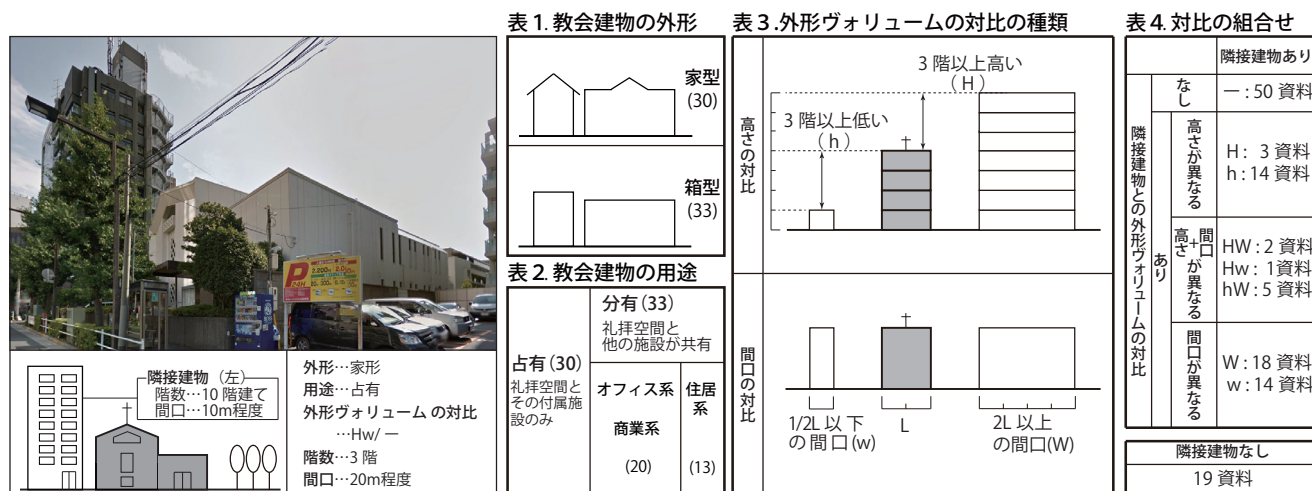
2. 教会建物の種類

2.1 教会建物の外形 教会建物は、分析例(図)のように、家の形を模した外形表現のみられるものがある。そこで、屋根の形に着目し、三角屋根の表現の有無から、教会建物の外形を家型と箱型に分類した(表1)。家型と箱型は同数程度みられることが分かった。

2.2 教会建物の用途 教会建物は、ひとつの教会団体が単独で使用するものに加えて、複数の教会団体が分割して使用するものや、他の用途の施設の一部を間借りして使用するものがみられた。こうした、建物の全体あるいは部分といった使用範囲や、多用途との複合は、建物の外形とは異なる水準で教会建物の現れ方を特徴づけている。そこで、教会建物の用途の構成に着目し、建物内を礼拝空間のみとする占有と、他の用途と共同する分有とで整理した(表2)。さらに分有は、その他の用途を、住宅系、オフィス系、商業系のいずれかに分類した。

3. 隣接建物との外形ヴォリュームの対比関係 教会建物は、形や素材など様々な水準で周囲の建物と対比あるいは連続することで、街並みのなかで際立って現れるものや、街並みに埋没しているものがみられる。ここでは教会建物の外形ヴォリュームに着目し、隣接建物との建物立面の高さ及び間口のスケールの対比関係から、周辺環境との外観の連続性を検討する(表3)。

まず、高さのスケールに関しては、教会建物に対して隣接建物の階数が3階以上異なる場合を高さの対比ありと捉えた。次に、間口のスケールに関して、教会建物の間口幅が隣接建物の2倍以上もしくは半分以下の場合を間口の対比ありと捉えた。これらの対比関係の有無を左右の隣接建物ごとに考察すると、隣接建物がある場合、隣接建物との外形ヴォリュームの対比があるものとならないものは、ほぼ同数みられた(表4)。また、外形ヴォリュームの対比がある場合、間口の対比が最



も多くみられ、高さと同口の両方の対比があるものはあまりみられなかった。ここで、対比の大小関係に着目すると、間口の対比がある場合、隣接建物より広いもの (W) と狭いもの (w) がほぼ同数みられるのに対して、高さの対比がある場合は、隣接建物より低い (h) 傾向がみられた。

4. 現代都市東京における教会建物の現れ方 教会建物の現れ方を検討するために、隣接建物の位置と外形ヴォリュームの対比関係を教会建物ごとに整理し、教会建物の種類を併記したものが表5である。

これより、両側に隣接建物があり、外形ヴォリュームの対比があるものが多いことが分かる。なかでも、間口の対比のみがあるものが多く、No.30 東京霊糧教会のように、間口が広いことで周囲から際立つものが多くみられた。高さの対比のみがある教会建物は、No.24 東京 (在日大韓) 教会のように、隣接建物より低いものが多かった。このことは、教会建物における高さと同口に関する異なる2つの対比の形成を示していると言える。ここで、対比のある隣接建物の位置を検討すると、高さあるいは間口のどちらかのみ対比がある教会建物は、片側の隣接建物とのみ対比があるものが多く、他の用途と分有するものが多かった。こ

のことは、プロテスタント教会が周辺環境との弱い連続性のなかに位置づく教会建物の一部として埋没していると言える。隣接建物との対比がない教会建物は、外形が箱型でオフィス系と商業系の施設と分有するものが多かった。商業系との分有は他では少なかったことから、商業用途との複合が教会建物の現れ方を分かりにくくしていると指摘できる。一方、片側のみに隣接建物がある教会建物は、間口の対比のみがあるものが多く、外形が家型で教会建物を占有するものが多くみられた。これらは、No.13 信濃町教会のように、空地を伴うことで街並みのエッジとして現れるものがみられた。

5. 結 以上、東京におけるプロテスタント教会の現れ方を分析した結果、教会建物が、高さと同口とで周辺環境との対比の形成のされ方が異なること、高密度な都市空間の中で周辺環境との弱い連続性のなかに位置づく教会建物の一部として埋没する傾向にあること、特に商業用途との複合が教会建物としての外観の把握を困難にしていることといった、現代都市空間において公益施設が内蔵化される形式の一端を明らかにした。

注) キリスト教年間2012 (キリスト教新聞社) に掲載されている港区及び新宿区に所在するプロテスタント教会のうち、Google社のストリートビューで外観を確認できた63の教会を資料とし、地図・写真及び現地調査を元に分析した。

表5. 建物ごとの外形ヴォリュームの対比

		対比なし (16)	対比あり (44)			
			高さのみ異なる (11)		高さと同間口が異なる (11)	
隣接建物あり (60)	両側 (47)	No.6 大久保 □/分 * / *	No.23 東京 (純福音) □/分 (オ) h / h	No.3 牛込聖パルナバ □/分 (オ) HW / W	No.29 東京平和 □/分 (オ) w / w	
	No.1 市ヶ谷福音ルーテル □/分 (オ, 商) * / *	No.32 平和希望キリスト □/分 (住) H / H	No.9 落合記念キリスト □/分 (オ) H / W	No.47 ぶどうの樹 □/占 w / w		
	片側 (13)	No.17 新宿復興 □/分 (オ, 商) * / *	No.15 新宿シャローム □/分 (オ) * / h	No.16 新宿西 □/分 (住, 商) hW / W	No.56 麻布南坂 △/占 w / W	
	No.35 日本リバイバル □/分 (オ, 商) * / *	No.24 東京 (在日大韓) □/分 (住) * / h	No.37 ハレルヤ □/分 (住, 商) HW / W	No.5 エバタ □/分 (住) W / n		
		No.36 百人町 □/分 (オ, 商) * / *	No.46 フルゴスベル東京 □/分 (オ) h / *	No.45 目白 □/占 hW / h	No.25 東京基督 □/分 (住) n / w	
	No.62 東京愛の教会 □/分 (オ, 商) * / *	No.54 赤坂 □/占 h / *	No.21 千代田 △/占 W / hW	No.30 東京霊糧 □/分 (オ) W / n		
		No.2 牛込キリスト □/占 * / *	No.38 早稲田 △/占 * / h	No.27 東京中央 △/占 h / W	No.39 ヨハン早稲田 □/分 (オ) n / W	
	No.11 上落合キリスト △/分 (住, 商) * / *	No.59 聖アンデレ △/占 h / *	No.61 高輪 △/占 w / h	No.40 ヨハン東京基督 □/分 (オ) n / W		
		No.33 西落合 △/占 * / *	No.49 下落合 △/分 (住) hW / *		No.50 大久保無教会 □/分 (オ) w / n	
	No.44 目白聖公会 △/占 * / *	<片側の隣接建物とのみ対比関係あり (21)>		No.64 霊南坂 □/分 (オ) n / W		
		No.52 目白が丘 △/占 * / *		No.41 淀橋 □/占 W / n	No.4 牛込弘方町 △/分 (住) n / W	
	No.55 麻布露町 △/占 * / *			No.20 中央栄光 △/分 (住) w / n	No.43 余丁町 △/分 (住) n / w	
		No.57 安藤記念 △/占 * / *		No.12 きよめキリスト △/占 n / w	No.22 東京 (改革) △/占 n / w	
				No.42 四ツ谷新生 △/占 W / n		
		13	8	9	17	
	片側 (13)	No.18 新東京バプテスト □/分 (オ, 商) - / *	No.65 六本木ルーテル □/占 - / h	No.10 柏木 △/占 HW / -	No.7 大久保キリスト △/分 (住) W / -	
	No.34 日本ベテル □/分 (住) - / *	No.58 芝 △/占 - / h	No.14 シロアム □/分 (オ, 商) hW / -	No.8 大久保バプテスト △/占 w / -		
		No.28 東京中央 △/占 * / -	No.60 聖オルバン △/占 - / h		No.13 信濃町 △/占 - / W	
		3	3	2	5	
隣接建物なし		No.19 高田馬場台湾 □/分 (オ, 商) - / -	<凡例>			
	No.48 戸山 △/占 - / -	[外形] 家型: △ 箱型: □	[用途] 占有…占 分有…分	[対比関係] 高さ… 高い: H 低い: h 間口… 広い: W 狭い: w	対比なし: n 隣接建物なし: -	
		No.63 鳥井坂 △/占 - / -	オフィス系と分有している: オ 商業系と分有している: 商 住宅系と分有している: 住			
		3				

< 具体例 >



* 東京工業大学附属科学技術高等学校 教諭・博士 (工学)

* Teacher, Tokyo Tech High School of Science and Technology, Dr.Eng.

** 室蘭工業大学

**Muran Institute of Technology